

水道水



水道水は、どこからくるのでしょうか？

「水道管を通ってくる。」

そのとおりですが、その前はどこからくるのでしょうか？

「雨となって空から降ってくる。」

そのとおりです。（その前は？と気になるかもしれませんが、その話はまた別の機会に・・・）

たいていの場合、山に降った雨は、ちよろちよろとした流れから始まり、次第に集まって大きな川となります。ところが、喜界島にはほとんど川はありません。喜界島では降った雨は、すぐに地面にしみこんでしまうのです。なぜなら、喜界島の大地がすき間の多いサンゴ由来の岩、石灰岩からできているからです。

石灰岩は、水にとけやすい性質があります。地面にしみこんだ水は、石灰岩の中を流れるうちに石灰岩をとかして穴を作ります。これが鍾乳洞です。（島中集落近くのウフヤグチ鍾乳洞は、中を見学できます。）

そうやって地面の中を流れてきた水を井戸からくみ上げ、「やわらかく」してから水道水として使っています。

「え、水にかたい、やわらかいってあるの？」

あるのです。石灰分がたくさんとけている水は「かたい水」です。「かたい水」にもいいところはあるのですが、やかんの底に石灰の塊ができたりと、困ったこともあります。そのため、電気を使って石灰分を取り除き水をやわらかくしています。

ちなみにやわらかい水は、かたい水に比べてまろやかな口あたりのおようです。（私は、飲み比べたことはありませんが・・・。）